

1. ベース色が濃いグレーになる。環境設定のインターフェイスで修正できる
2. バックグラウンド保存
3. 復元情報を自動保存
4. 64ビット対応（コンタクトシートなど）
5. スクリプトメニューができています。ファイルを開いたなどのタイミングでスクリプトを実行できる。
6. パフォーマンス向上（ゆがみツール）
7. 切り抜きツール（トリミング）切り抜いたピクセルを削除にチェックを入れなければ後でやり直しできる。
8. 切り抜きツールは枠ではなく写真を動かす
9. 角度補正も切り抜きツールで使える。（モノサシツールではない）
10. フィルタが整理された（フィルタギャラリー）
11. 広角補正 広角レンズで撮影したゆがみを補正できる
12. コンテンツに応じた移動ツール（選択して移動すると消えたところを埋めてくれる）
13. パッチツール（コンテンツに応じるオプションが増えた）
14. ぼかし フィールドぼかしなどが増えた ぼかし中央のマルでぼかし量を調整
15. 虹彩絞りぼかし 何箇所もぼかさないと設定できる
16. 動画編集もできる mp4を開けば良い Extendedからの移動
17. Photoshop Extended 3D機能の強化
18. 文字を入力して3Dメニューから押し出し
19. 角度や光源の位置をかたんに変更できる
20. 属性パネルで色を塗る テクスチャを設定する。
21. 3Dのデータを配置できる。

レイヤーパレットからレイヤーの検索ができるようになり、「シェイプレイヤーだけ」「文字レイヤーだけ」「乗算のみ」「覆い焼きのみ」といった検索&表示ができる。

「コンテンツに応じた移動」。選択→コピーで人物を移動できる。

（「コンテンツに応じる」機能）

バースが狂った写真（魚眼写真）を補正できる「広角補正」

「ゆがみ」などのブラシ系フィルターが軽くなった。1500サイズが上限だったブラシサイズは1万5000サイズまで設定可能になり、描画がモタモタせず、本当のブラシをかけているような感覚になった。

マスクごとに色温度/色かぶり/ノイズ/モアレの処理ができるようになった。

まず自動保存。10分間隔など時間を決めて自動保存できるようになった。もう1つはバックグラウンド保存。大きなファイルを「別名で保存」するとき、保存中は何もできなかったが、今回は「保存中」のアナウンスが出るだけでほかの作業ができるようになった。

バックアップデータを一定時間毎に別データとして保存できるようになった

レイヤースタイル並び変更

描画速度上がった

（フィルター系の重い処理がサッとこなせるように！）

64bit必須ということは、以前は32bitモードで起動しないと使えなかった照明効果が普通に使えるようになってるはず

Mac版では、メニューバーの「ウィンドウ」を開いて、下のほうに「アプリケーションフレーム」という項目があるので、チェックを入れておくとWindows風、チェックを外すとMac風のインターフェイスになる。Windows版ではこの項目はない。

「別名で保存」保存中のメッセージが出て他の操作が出来る（バックグラウンド保存が可能になったので）

(1) フィルターのドロップダウンメニューとギャラリーで内容が重複しているものを整理。基本的なフィルターはギャラリーから選ぶ。

(2) 自由変形で、高さや幅をポップアップ表示できるようになった。

(3) ブラシ。Ctrl+Altを押しながらブラシをオンにすると直径/硬さ/不透明度を表示できるようになった。

Shift+F2 明るく

Shift+F1 暗く

シェイプオブジェクトに対して境界線

コンテンツに応じるファミリーのさらなる進化形として、[コンテンツに応じた移動ツール]が追加されたほか、[パッチツール]のオプションに[コンテンツに応じる]オプションが追加されています。

このほか、ぼかしギャラリー、切り抜きツールの強化、広角補正フィルター、ビデオ編集、3Dコントロールなど、充実すぎるバージョンアップです。

パノラマ写真作れる
インターフェイスが黒い！

PhotoshopCS6、色々と新機能が追加されたり現機能が改良されたりと変化しました。
全部はご紹介しきれないので「みま厳選ココがすごい」をご紹介します。
メニューバー>ウィンドウ>ワークスペース>CS6 新機能
ここにチェックをつけると新機能のメニュー項目がハイライトで表示されます。

まず、新機能追加での目玉コレ

- ・自動保存/バックグラウンド保存
- ・コンテンツに応じた移動ツール
- ・レイヤー検索
- ・遠近法切り抜きツール

現機能の改良

ユーザーから寄せられた声に基づいて行われています。

- ・自由変形で、高さと幅をポップアップ表示できるようになった。
- ・長方形ツールでサイズを指定して作成&編集出来るようになった。

(fireworksっぽい)

- ・ブラシ。Ctrl+Altを押しながら(右)クリックすると直径/硬さ/不透明度を表示するようになった。

上下移動：堅さ変更

左右移動：サイズ変更

- ・シェイプオブジェクトに対して境界線
- ・マスクごとに色温度/色かぶり/ノイズ/モアレの処理ができるようになった。
- ・フィルター系の重い処理がサッとこなせるように！

描画エンジン「Adobe Mercury Graphics Engine」を搭載した結果、「ゆがみ」などのブラシ系フィルターが軽くなった。

Photoshop CS6 は「ユーザーの声を反映するバージョン」と位置づけられています。そのため、今までにない新機能の追加は少しに抑え、ほとんどがユーザーから寄せられた声に基づいて、現機能の変更や改良がおこなわれた点が特徴的です。

- ・切り抜きツール
- ・選択ツールで選択した状態から選択範囲を維持したまま切り抜きツールへと変更出来る。

(→選択ツールはpx単位での選択

→切り抜きツールはpx単位より細かい)

トリミングでの移動時に画像が動く

今までは切り抜き範囲が動いていましたが画像が動くようになりました。

切り抜き結果を見ながら、切り抜く位置を指定することができます。

切り抜き結果となるトリミング枠の中を見ながら操作でき、直感的で解りやすい。

切り抜きツールに切り替えるとキャンパスの外側四隅にTマーク(ハンドル)が出てきます。

よりトリミングしやすくなりました

そして更に、「切り抜いたピクセルを削除」チェックボックスのチェックを外すと、

トリミングした後も画像が残ってます。

何度でもトリミングし直せます。

こんな感じ

この画像を使ってバナーを作ってください。

「文字入っとるがなー！！」

こんな経験ありませんか？

「もう少しこの文字が大きかったら、真ん中に寄ってたら・・・」

そんな時にこの「」が大活躍☆

photoshopCS6を使えば、

出来ますが、WEBサイトを表示する上で画像をたくさん読み込ませると重くなりますよね
そんな時、Fireworksの新機能を使えばより軽くなります
何が軽くなるのか・・・？
それはこうめさんのプレゼンにて・・・！！